

品川学園は、平成28年度（2016年度）から義務教育学校として開校しており、児童・生徒と共に、時代に誇れる新しい義務教育のモデルづくりを進めていました。

義務教育学校としての運営状況や課題、施設の構造、児童生徒の状況等をお聞きし、小田原市の今後の学校づくりに取り入れられる点について視察いたしました。

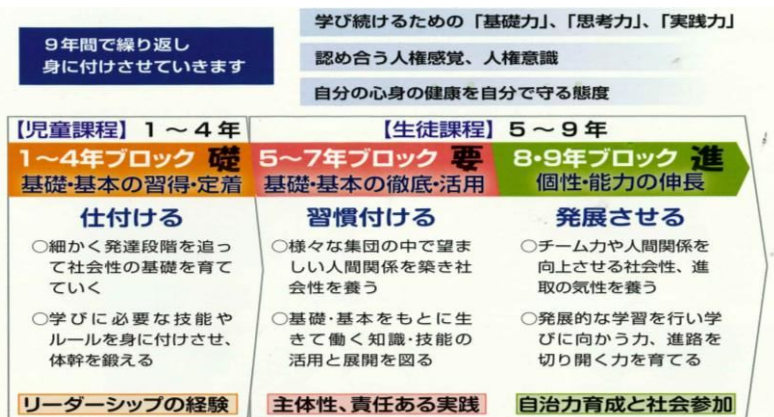
（１）学校概要

児童生徒数 学級数		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援	合計
	児童生徒数	112	107	117	125	126	116	132	120	136	48	1,139
	学級数	4	4	4	4	4	4	4	3	4	5	40
職員数	校長	副校長	教諭	養護経諭	栄養士	事務主事	用務主事	その他※	合計			
	1	3	61	1	1	4	2	98	171			
敷地状況	敷地	19,285.79㎡（プール、保育園も含む）										※その他の教職員について ・ 学校地域コーディネーター ・ スクールサポートスタッフ ・ TA・JTE・ALT講師 ・ メディアセンター交通指導員 ・ 部活指導員 ・ 校医・薬剤師 等
	運動場	9,000㎡（第一、第二、低学年グラウンド）										
	校舎（鉄筋）	18,144.92㎡	プール		1,426.38㎡							
学区域	小学校				中学校							
	品川学園（前期課程）				品川区立小中一貫校 品川学園（後期課程）							
	御殿山小学校											
	台場小学校											

※その他の教職員について
・ 学校地域コーディネーター
・ スクールサポートスタッフ
・ TA・JTE・ALT講師
・ デイケアセンター交通指導員
・ 部活指導員
・ 校医・薬剤師 等

（２）教育課程・特色

- ・ 9年間で上がるべき階段が連続性をもって用意されています。
- ・ 下級生の姿を自分の成長の証とし、上級生を未来への憧れとして、今を大切に、自分を伸ばしていくことができます
- ・ ウェルビーイング経営に力をいれており、児童生徒だけでなく、学校に関わる全ての人たちの満足度向上に努めています。



（３）校長先生との対談

学校運営	・ 小学校の卒業式について、児童は気にしていないが、<u>保護者から行ってほしいという意見が多い</u>。品川区は中学校への進学が選択できるため、外の学校に行く児童のために卒業式は行っている。また、外から入ってくる中学生の入学式も行っている。 ・ 児童生徒の環境として、「いじめ」が起こっている状況はない、また8年生が1年生の面倒を見ることもあり、上下の関係もよく、<u>下級生が上級生を怖がるということもない</u>。 ・ 運動会は、1～4年生と5～9年生で分けて2回行っている。全員で行うと、待ち時間が長く、1年生には難しい。 ・ 市民科という、区独自の教科があり、教科書による単元学習、地域の教育力を活用した探究的な学習などを通して、「市民」としての資質と能力の育成を目指して取り組んでいる。
	・ 品川区でも教職員は少なく、去年までは校長や副校長も授業を行っていた。教職員の採用は、小・中の免許を持っている人を採用するようにしているが、<u>両方の免許を持っている教職員は少ない</u>。
施設管理	・ <u>施設の維持管理は外部に委託しており、教職員から切り離している</u>。時間外の体育館、校庭、プールの貸出や児童館等も外部委託している。 ・ 支援が必要な児童生徒は増えており、教室が足りていない。先生と合わせて検討が必要。
地域	・ <u>クラブ活動について、基本は外部指導員にお願いしている</u>。指導したいという教職員がいれば行ってもらっている。また、サッカーや野球などは学校でクラブを作らず、地域のクラブに入ってもらおうようにしている。教職員からは、やはり専門の方が教えた方が成績が上がっているという意見もある。

(4) 施設・設備

- ・ 4-3-2のまとまりを具現化するため、フロアに応じて教室の構造が違っており、各学年に合った環境が整えられています。
- ・ 学習や交流等を行うための十分なスペースの確保がされています。



広い廊下と子供たちのロッカー



【教室：8・9年生】
教室で集中できる環境



【教室：5～7年生】
廊下との区切りをなくした教室



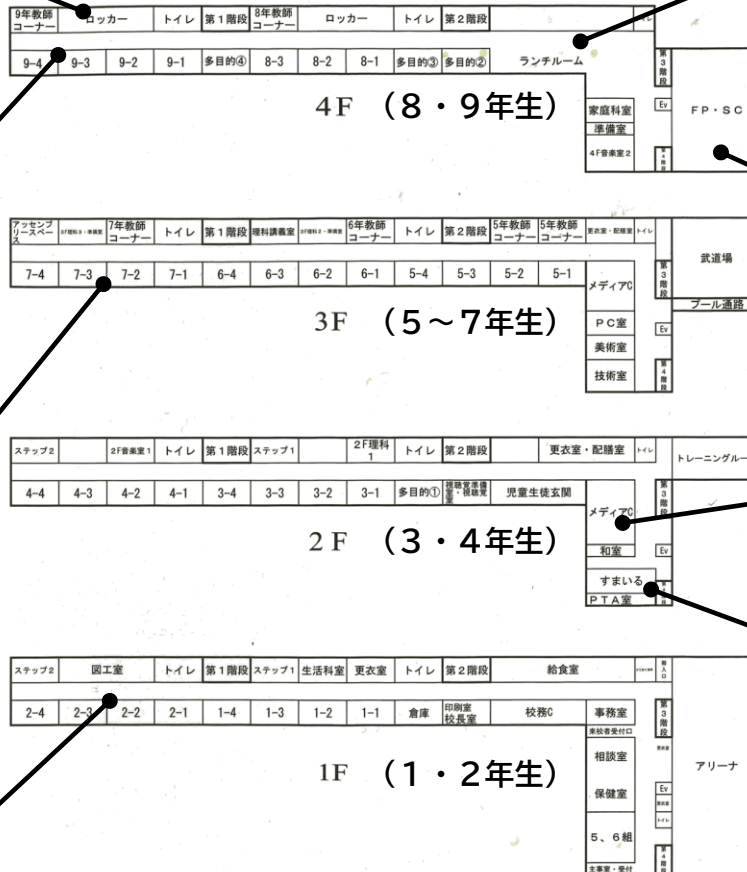
【教室：1・2年生】
教室に直結した下駄箱



低学年用庭



直線100mがとれるグラウンド



260席のランチルーム



職業体験スペース（区の施設）



和室と隣接した図書室



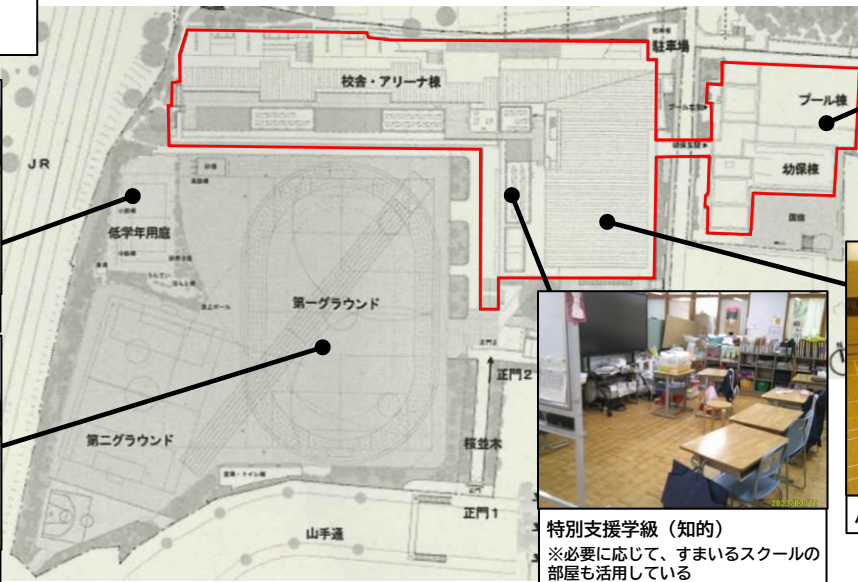
学童（すまいるスクール）は
図書室エリアも活用



通年使える温水プール



バレーコート3面取れるアリーナ



特別支援学級（知的）
※必要に応じて、すまいるスクールの部屋も活用している

<児童・生徒の現状>

- 人なつこく、仲間を思う意識が強い
- やるときはやれる力を持っている
- 規範意識の判断基準に危うさがある
- 表現する言葉の力が不十分である
- 家庭学習の定着にばらつきがある
- 他律から自律への移行が遅れがちである

<一貫教育の活用>

- 9年間で自分の過去・現在・未来を確認できる
「下級生は成長の証し、上級生は未来の憧れ」
- 大切なことを9年間で繰り返し指導できる
- 日常的に9年間を見通した指導ができる
「成長をみつめ、今を大切に、将来に向かう」

学ぶ力

(学力の向上) 主体的・対話的

学び続けるための「基礎力」
「思考力」「実践力」を身につける

- 発達のステップを着実に進む学びを生む指導と、系統性を持った教材、評価方法の開発を行う
- 学び合いや問題解決学習を活用して思考を深め、常に学びに向かう主体性が
高まる学習を推進する

<地域の特質>

- 歴史と伝統があり、進取の気風を持つ街
- 学校への愛着があり、協力的である
- 継続して子供、学校を支えてきている
- 地域行事への子供の参加が望まれる

<学校の課題>

- 子供の学力と学びの質の向上
- 子供の主体性と規範意識の向上
- 子供の自尊感情、自己効力感の醸成
- カリキュラム・マネジメントの向上
- 教職員の経営参画意識を高めるシステムづくり
- 品川版コミュニティスクール(CS)としての活動
- ICT、英語、特支教育、不登校対応、体力向上等への取組
- 施設・教材・教具の適切な管理と活用
- 避難所、地域の核としての役割 etc

豊かな心

(豊かな人間性・社会性の育成) 寛容

認め合う人権感覚、人権意識
を身につける

- 自他の違いを認め、仲間として生きる態度を養う行事や縦割り班活動、自治活動を行う
- 市民性を高める9年間の連続した指導で将来設計の基本を身につける
指導を行う

【教育目標】
【基本方針】

健やかな体

(体力の向上 健康の保持・増進) 持続可能

自分の心身の健康を自分で守る態度
を身につける

- 基礎体力を向上させ、運動に親しむ態度を養う機会を定期的・日常的に設定する
- 年間を通じ、体育的・保健的の行事を効果的に結びつけるカリキュラムを開発する

【ブロックごとの指導目標】

【児童課程】1～4年

1234年ブロック 礎
基礎基本の習得・定着

① 「仕付ける」

- 段階を追って社会性の基礎を育て、学習に必要な技能やルールを身に付けさせる。
- 1, 2学年から意図的・計画的に自己肯定感の醸成と授業規律の徹底を図る。運動に親しませ、体幹の力と基礎体力を養う。
- 3, 4学年では、読み書き指導や身体能力の育成に重点を置き、基礎的・基本的な学力の習得に力を注ぎ、体幹を鍛える。
- 特に学習に支援の必要な児童には、マイ・スタディ等も活用して個別指導計画に基づき一人一人の実態にあった支援を行う。

【生徒課程】5～9年

567年ブロック 要
基礎基本の活用・展開

② 「習慣付ける」

- 学習・生活両面で自身が主体者となるよう、他律から自律への移行、責任の全うを行わせる。
- 基礎的・基本的な学力の徹底をもとに、生きて働く知識・技能の活用と展開を図る。
- 567学年の連携を密にし、教科担任制を生かして、学びに向かう習慣を育てる。また、自己の確立と自他のバランスを大切にしたい実践力を身に付けさせる。
- 様々な集団の中で互いの良さを認め合う心情と、望ましい人間関係構築能力や社会性を養う。

89年ブロック 進
個性・能力の伸長

③ 「発展させる」

- 基礎学力の上に発展的な学習を積み重ね、進路を切り開く学力を身に付けさせる。
- 生涯学び続ける自学自習の姿勢を持たせ、常に学びに向かう社会人の素養を養う。
- 諸活動において、自らを向上させつつ、チームとしての力を作り出す経験を積ませる。
- より良い人間関係を目指す社会性を養い、自治活動を通して自己有用感を高める。また、自己実現のための望ましい職業観勤労観を育成する。

児童・生徒を主語にした学び舎

児童生徒会等による意見表明の機会
「絆づくり」「居場所づくり」の推進 ETC

【9年間を通じ積み上げる行動目標】

習年 見年 伸年 挑年 見知年 まや年 作年 超年 渡残年
う せる ばす む るる るる るる るる るる

【経営を支える基本方針】

一つの学校として9年間を生かす学校運営

- ・常に校務を整理し、モデルアップダウン体制による組織運営を進める
- ・9年間の連続性を重視した情報管理・活用、校務処理を行う
- ・各事業とも企画書を活用し、組織立てた運営で次年度につなげる
- ・各教科・各学年で年間予算の精度を上げ、効果的・計画的に運用する
- ・コミュニティスクールとして地域に根ざす教育活動を構築する
- ・教育公務員としての自覚をもち、常に、危機意識をもって取り組む

一つの学校として9年間を生かすカリキュラム開発

- ・1から9のつながり、4-5のまとまりを生かす指導サイクルを作る
- ・各教育活動の評価方法を工夫し、課題を明確化する
- ・評価と家庭学習を効果的に関連させ、保護者と協力して指導を進める
- ・各教科等の年間(単元)指導計画と一貫教育目標との関連を整理する
- ・校内研修・実践を活用し、義務教育学校、CSの指導方法を研修する
- ・幼小小連携から卒業後の進路へ、そしてその先を見据えた指導を実践する

EBM
エビデンス
ベースド
マネジメント

子ども基本法
令和の日本型教育
品川区学校教育要
領(社会科卒業論文)
ETC



SHINAGAWA
GAKUEN

品川区立
品川学園

学校長挨拶

「階段がある 垣根はない」

私たち品川学園は、歴史と伝統のある品川宿に位置する義務教育学校です。区内随一の広さを誇る校庭や学年ごとに特徴をもたせた教室群などの工夫がある校舎で、毎日、1100名を超える6歳から15歳の児童・生徒が、活気ある学校生活を送っています。

校是として「志と忍耐」、「承前啓後」を掲げています。これは、児童・生徒が自ら志をもち、それを果たすために地道であっても着実に、学ぶ力・豊かな心・健やかな体を身に付けること、そして、小学校・中学校・一貫校時代を通じて培ってきた成果を受け継ぎ、児童・生徒の力を高めて未来を啓くことを創設の理念としているからです。

本校ではこの理念を生かしながら、児童・生徒たちと共に、次代に誇れる新しい義務教育のモデル作りを進めています。また、コミュニティスクールとして、歴史あるこの地域の教育力を生かし、地域に根差した教育活動を行っています。そしてなにより、常に前向きに自分たちの学校を作っていこうとする児童・生徒の姿は、本校の象徴であり誇りです。

品川学園には、9年間で上るべき階段が連続性をもって用意されています。そして、進もうとするときに視界を遮る垣根はありません。下級生の姿を自分の成長の証とし、上級生を未来への憧れとして、今を大切に、自分を伸ばしていくことができます。これからも、自他のウェルビーイングの向上を図り、よりよく社会を変え、支える力（Agency）と資質と能力（Competency）を地域と共に育んでいきます。

品川学園校章



SHINAGAWA
GAKUEN

三つの輪は、教育目標の「学ぶ力」、「豊かな心」、「健やかな体」の精神を「品」という漢字を使って表しています。三本の縦のラインは「川」をイメージしています。この二文字が、人々が共に協力し合い支え合う姿と、むくの木が子どもたちの成長を見守り、未来に向かって力強く伸びていく姿を表現しています。青い色はその先への広がりをもつ港や海の青を、金色は子どもたちの輝く未来をイメージしています。（デザイン：堀内恭司）

9年間を通す行動目標

児童・生徒たちが自ら、自立に向けて連続して積み上げ、成長していくための指針としています。

1年生：習う

まずは、様々な習う姿勢を身に付けます。

2年生：見せる

習ったことを下級生に手本として見せます。

3年生：伸ばす

自分も周りも伸ばすようにステップアップします。

4年生：挑む

失敗を恐れずに前向きに挑んで、9歳の壁を突破します。

5年生：知る（見る）

他律から自律に進む大元をつくるため、「自分から」吸収します。

6年生：やる（まねる）

絶対に今までのレベルを落とさず実行します。上向きへの責任は重大です。

7年生：作る

自分たちの力で自律した活動を作り上げ、主体者としての責任を背負います。

8年生：超える

先輩が作ってきたものを超え、自分も仲間も学校も進化させる力を生み出します。

9年生：残す（渡す）

誇りをもって先に進む者として、後に何を残せるか。すべてが、後輩たちに渡すものです。

教育課程・特色

9年間で繰り返し
身に付けさせていきます

学び続けるための「基礎力」、「思考力」、「実践力」

認め合う人権感覚、人権意識

自分の心身の健康を自分で守る態度

【児童課程】 1～4年	【生徒課程】 5～9年	
1～4年ブロック 礎 基礎・基本の習得・定着	5～7年ブロック 要 基礎・基本の徹底・活用	8・9年ブロック 進 個性・能力の伸長
仕付ける ○細かく発達段階を追って社会性の基礎を育てていく ○学びに必要な技能やルールを身に付けさせ、体幹を鍛える	習慣付ける ○様々な集団の中で望ましい人間関係を築き社会性を養う ○基礎・基本をもとに生きて働く知識・技能の活用と展開を図る	発展させる ○チーム力や人間関係を向上させる社会性、進取の気性を養う ○発展的な学習を行い学びに向かう力、進路を切り開く力を育てる
リーダーシップの経験	主体性、責任ある実践	自治力育成と社会参加

特別支援学級（前期課程：5組、後期課程：6組）も各学年に所属して行事や授業・給食などで交流活動を行います。

東京都指定：東京都人権尊重教育推進校
海外交流校：リンフィールド・カレッジ（ニュージーランド）等

標準服

- 1年生から標準服を着用して、規律あるさわやかな学園生活を送れるようにします。
- 全学年共通：紺色ブレザー、体育着（半袖シャツ、クォーターパンツ）

児童課程 1～4年

- A**
グレー半ズボン、白ポロシャツ
- B**
チェック柄スカート、白ポロシャツ
- 共通**
校帽（1～4年）、ランドセル（指定なし）は6年生まで可



※5～9年生の女子は、女子用スラックスも着用できます。

生徒課程 5～9年

- A**
グレースラックス、エンジ色ネクタイ、白Yシャツ、紺ポロシャツ（夏）
- B**
チェック柄スカート、エンジ色リボン、白Yシャツ、紺ポロシャツ（夏）
- 共通**
ジャージ、体育館履き、通学カバン、サブバック、上履き

品川学園 校歌

作詞／六ツ見純代 作曲／川井 憲次

1 おおきな空を 目指すむくの木のよう
まっすぐ伸びる 強さと学ぶ力

明日（あした）の階段 共に登れば
かがやく夢がある 品川学園

2 誇り受け継ぎ 新たに築く歴史
手を取りあって 紡ぐ豊かな心

明るい笑顔 集う場所には
希望が満ちていく 品川学園

3 元気な声が 響く広い学び舎
この健やかな 体に勇気宿る

桜を見上げ 歩きだす道
未来へ続いてく 品川学園

校歌について

毎日の生活から子どもたちがイメージする品川学園をもとに、これから歴史を重ねていく新しい学校に相応しい「6歳から15歳がともに歌え、一つ心となれる校歌」を目指して作成されました。

作曲された川井憲次先生は、城南中学校の卒業生で、映画音楽で国際的に活躍され、大河ドラマのテーマなど数多くの作品で音楽愛好家を魅了されています。

作詞をされた六ツ見純代先生は、J-POPやアニメーションの主題歌などを中心にした幅広い活躍で、大人から子どもまでたくさんのファンをお持ちです。

充実した施設・設備



年間行事



入学式(1)、567ブロック始業式(7)

1・7年生が希望をもって儀式に臨み、学校の伝統を引き継ぎます。

5～9年生が、4つの団に分かれ力を合わせて優勝を目指します。



春季運動会(天桜祭)(5～9)



消防写真会

消防署の方からお話を聞き、画面いっぱいに描きます。



磐梯移動教室(7)

磐梯の自然の中で、仲間と共に自分たちの力で作り上げた移動教室。

4月

学校公開
一・七年生を迎える会
567ブロック始業式(7)
入学式(1)

5月

水泳指導(1～4)
春季運動会(天桜祭)(5～9)
開校記念日
地域訪問(1～9)

6月

特別支援学級連合移動教室(7～9)
期末考査(5～9)
特別支援学級連合日光宿泊学習(4・5)

7月

市民科授業地区公開講座
学ば力養成塾(8)
品川塾夏季集中講座(7)

8月

日光林間学園(5)

9月

水泳指導(5～9)
修学旅行(9)
特別支援学級連合スポーツ大会(7～9)
中間考査(9)
磐梯移動教室(7)



日光移動教室(6)

日光の歴史にふれるとともに、様々な野外活動を通して友達との絆を深めます。

それぞれの学級・学年が歌を通して心を一つにします。



学習成果発表会(紅葉祭)(5～9)



修学旅行(9)

歴史と文化に親しみ、学校生活の思い出を作りました。



特別支援学級連合スポーツ大会(7～9)

区内の特別支援学級の仲間達と交流し、仲を深めています。



プール

全天候型の室内温水プールで泳力を高めます。



緑化隊

4年生や地域まちづくりプロジェクトが新馬場駅の花壇で花を育てています。



学習成果発表会（楓光祭）（1～4）

豊かな表現力を発揮し、舞台を存分に使って発表します。



秋季運動会（光稜祭）（1～4）

短距離走、表現、団体種目で日頃の学習成果を披露します。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
日光移動教室（6） 学習成果発表会（紅葉祭）（5～9） 特別支援学級連合学習発表会（5組） 東京都特別支援学級設置校陸上競技大会（6組） 学校公開・学校説明会	ファイナンス・パーク（8） 期末考査（5～9） 秋季運動会（光稜祭）（1～4）	引き取り訓練	職場体験（7） 書初め大会・席書会（1～6） 企業訪問（8） スチューデント・シティ（5）	学年末考査（5～9） 学校公開 入学説明会 合同お別れ遠足（5組・6組） 学習成果発表会（楓光祭）（1～4）	前期課程修了式（6） 卒業式（9） 立志式（7） 引継ぎ式（4） 九年生を送る会

※（ ）内は学年



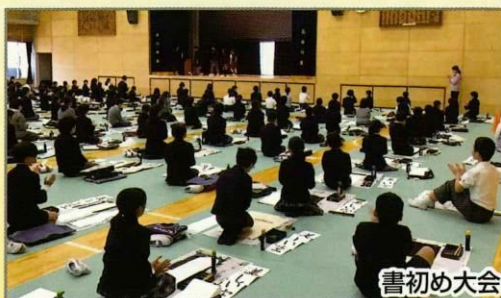
スチューデント・シティ（5）

様々な職業の中で、どのような仕事があるのか、体験を通して学んでいきます。



職業体験（7）

実際の仕事を体験したり、企業の方のお話を聞いたりして、進路選択に生かします。



書初め大会

学年のめあてに沿って無心に書きあげます。



卒業式（9）

9年生最後の姿として、誇りをもって創り上げてきたすべてのものを後輩に渡します。

品川学園の生活

《1日の時程》

1～4年生 (45分授業)	
登校	～8:15
読書	8:15～8:25
学級指導	8:25～8:30
朝学習	8:30～8:45
準備	5分間
1校時	8:50～9:35
準備	5分間
2校時	9:40～10:25
中休み	20分間
3校時	10:45～11:30
準備	5分間
4校時	11:35～12:20
給食	40分間
昼休み	20分間
清掃	15分間
5校時	1:40～2:25
準備	5分間
6校時	2:30～3:15
下校指導	3:15～3:30
下校時刻	3:45

5～9年生 (50分授業)	
登校	～8:15
読書	8:15～8:25
朝学習	8:25～8:35
学級指導	8:35～8:40
準備	10分間
1校時	8:50～9:40
準備	10分間
2校時	9:50～10:40
準備	10分間
3校時	10:50～11:40
準備	10分間
4校時	11:50～12:40
給食	35分間
昼休み	20分間
準備	5分間
5校時	1:40～2:30
準備	10分間
6校時	2:40～3:30
下校指導	3:30～3:40
清掃	3:40～3:45
下校時刻	3:45

《1～9年 週時程》

	月	火	水	木	金	土
朝会 朝学習	○	○	○	○	○	○
1校時	○	○	○	○	○	○
2校時	○	○	○	○	○	○
3校時	○	○	○	○	○	○
4校時	○	○	○	○	○	
5校時	○	○	○	○	○	
6校時	4～9 年	2～9 年		3～9 年	5～9 年	

土曜授業は年4日実施(R7年度)
○は1～9年生で授業あり
5・6年生の金曜日6校時は、
委員会があるときのみ実施



登校



全校朝会



品川未来塾



1～4授業



5組授業



休み時間



清掃



6組授業



給食



児童生徒会



すまいるスクール



品川コミュニティスクール

部活動

令和7年度現在

運動部

ソフトテニス部 バスケットボール部(男)
バレーボール部(女) 水泳部 陸上部
ダンス部

文化部

演劇部 科学部 美術部
パソコンメディア部
吹奏楽部(前期・後期)

プロジェクト活動

北品川第二保育園プロジェクト 地域まちづくりプロジェクト
世界ともだちプロジェクト



最近の主な高等学校等合格状況 2025年4月現在

☆公立高等学校

◎都立高等学校

青山 世田谷総合
赤羽北桜 総合芸術
飛鳥 総合工科
上野 第一商業
園芸 竹台
大江戸 竹早
大崎 橘
大崎(定時制) 多摩科学技術
大田桜台 つばさ総合
大森 田園調布
科学技術 戸山
蒲田 豊多摩
北園 白鷗
蔵前工業 晴海総合
国際 日比谷
駒場 広尾
小山台 深川
鷺宮 富士
桜町 文京
芝商業 松原
城東 三田
新宿 美原
神代 目黒
杉並 紅葉川

八潮
雪谷
芦花
大郷工科
六本木

◎都立高等専門学校

産業技術高等専門学校

◎国公立高等学校

お茶の水女子大学附属
東京学芸大学附属
筑波大学附属
東京工業大学附属

◎他県公立高等学校

千葉 幕張総合
神奈川 水取沢

◎都立特別支援学校

永福学園
港

☆私立高等学校他

◎私立高等学校

駒場学園
青森山田
青山学院
麻布大学附属
安部学院
郁文館
郁文館グローバル
市川
岩倉
石見智翠館
江戸川女子
大西学園
大森学園
開成
学習院
霞ヶ浦
浦田女子
神田学園
関東国際
関東第一
北豊島
共栄学園
暁星国際
国立音楽大学附属
慶應義塾
慶應義塾志木
慶應義塾女子
京華
佼成学園
佼成学園女子
国府台女子学院
國學院
國學院大学久我山
国際基督教大学付属
駒込
駒澤大学

東京実業
東京農業大学第一
東洋
東洋女子
東洋大学京北
トキワ松学園
二松学舎大学附属
日本学園
日本工業大学駒場
日本女子体育大学付属二階堂
日本体育大学荏原
日本大学豊丘
日本大学第二
日本大学鶴ヶ丘
八王子学園八王子
飛龍
広尾学園
広尾学園小石川
文京学院大学女子
文教大学女子
文教大学付属
法政大学第二
宝仙学園
朋優学院
保善
武蔵野
武蔵野大学付属千代田
明治学院
明治大学付属明治
目黒学院
目黒日本大学
目白研心
山梨学院
立教池袋
立教新座
立志舎

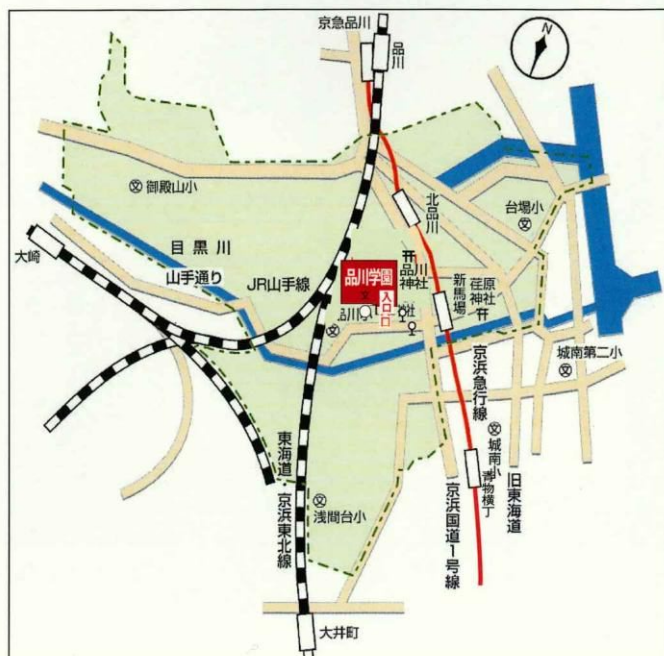
立正大学付属立正
早稲田大学高等学院
早稲田大学本庄

◎通信制・サポート校

科学技術学園
クラーク記念国際
志成館
聖進学院
大智学園
東海大付属望星
八洲学園
ルネサンス
KTC おおぞら高等学院
N 高等学校
WILL 学園

◎専門学校他

東京スクールオブミュージック
&ダンス専門学校高等課程
パンタングেমアカデミー



SHINAGAWA
GAKUEN

品川区立
品川学園

〒140-0001 品川区北品川 3-9-30

電話: 03 (3474) 2671

FAX: 03 (3474) 2673

ホームページ:

shinagaku.shinagawa.andteacher.jp



品川区立品川学園
shinagaku.shinagawa.andteacher.jp

交通アクセス

京浜急行線「新馬場駅」下車徒歩 3 分

JR 山手線「大崎駅」下車徒歩 12 分

東急バス「新馬場駅前」下車徒歩 3 分